



令和5年9月22日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第26号

全国学力・学習状況調査の 改善計画を公表しました。

「全国学力・学習状況調査」とは、文部科学省が毎年4月に全国の小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象に行う全国的な学力調査です。この学力調査は「教科に関する調査（国語、数学、英語）」と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の2種類を行い、一人一人の生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、各学校の成果と課題を明らかにし、今後の学習指導の改善に役立てることを目的としています。

「教科に関する調査（国語、数学、英語）」は、調査する中学校第2学年までの内容を範囲とし、基礎的・基本的な知識・技能はもちろんですが、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のために必要な力を見取る問題が出題されます。

本年度の「全国学力・学習状況調査」の全国、広島県及び本校の平均正答率が発表されましたので、各教科（国語、数学、英語）の重点課題や改善の方策などを「令和5年度全国学力・学習状況調査指導方法等の改善計画」にして学校ホームページに公表しました。

本年度の本校の結果についてですが、国語は全国及び広島県の平均正答率を上回りましたが、数学及び英語は下回る結果となりました。平均正答率だけでは、必ずしも学力の全てを表すものではありませんので、他の情報と合わせて総合的に結果を分析・評価してまいります。調査問題の一つ一つの正答率などを分析し、今後の改善策を具体的に示したものが「令和5年度全国学力・学習状況調査指導方法等の改善計画」となります。ここに示した改善の方策を授業において講じるとともに、更には生徒一人一人の学習状況に応じた指導も行うことで、学習意欲及び学力の向上につなげてまいります。

また、タブレットを使った毎日15分間のドリルタイムや第3学年対象の放課後の学力補充など学力向上のための取組も継続してまいります。

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立蒲刈中学校
(蒲刈中学校区)

全国平均値との差 (英語については、「話すこと」調査を除く)

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画(指標)	+5.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	-	-	-
令和6年度	-	-	-
令和5年度	+2.2	-7.0	-8.6
令和4年度	+4.0	-2.4	-

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 72 % 全国 69.8 % 県 70 %</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化</p>	<p>重要課題</p> <p>◎ 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することについて課題がある。(設問1三)【話すこと・聞くこと】 (正答率 66.7%) (全国平均との差-15.8ポイント)</p> <p>◇ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることについて課題がある。(設問3一)【書くこと】 (正答率 33.3%) (全国平均との差-21ポイント)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎ 目的に応じて集めた情報を基に知りたいことを整理し、相手の話を捉えて効果的に質問したり、聞き取ったことを基に自分の考えをまとめたりする学習活動を多く設定する。</p> <p>◇ 事実やそれを基に考えたことをレポートなどにまとめて書く際には、目的や意図に応じて集めた材料を整理し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する学習活動を多く設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎ 目的に応じて集めた情報を整理する、学年末試験の類似問題。 (第3学年1月, 第1・2学年2月) 目標 80%</p> <p>◇ 文章校正の意図に関する学年末試験における類似問題。 (第3学年1月, 第1・2学年2月) 目標 50%</p>
<p>数学</p> <p>本校 44 % 全国 51.0 % 県 49 %</p> <p>数と式 図形 関数 データの活用</p>	<p>重要課題</p> <p>◎ 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。【数と式】 (「数と式」の領域別平均正答率 48.9%) (全国平均との差-14.1ポイント) (設問6(2)の正答率 33.3%) (全国平均との差-25.5ポイント)</p> <p>◇ ある事柄が成り立つことを証明することに課題がある。【図形】 (「図形」の領域別平均正答率 29.6%) (全国平均との差-3.6ポイント) (設問9(1)の正答率 22.2%) (全国平均との差-9.9ポイント)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎ 計算や括弧で括り、3の倍数であると説明するところなど、生徒がどの段階で間違えたかを分析し、ドリルソフト Qubena 等を活用して、「数と式」領域の復習を行う。入試の過去問など、長めの対話形式の問題から情報を整理する活動も取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <p>◇ 「図形」領域の指導の中で、穴埋め→並び替え→全文記述と、段階的に合同や相似の証明の活動を取り入れ、事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて説明する場を多く設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇標準学力調査における類似問題(第1・2学年:1月) 目標 60% 学年末試験における類似問題(第3学年:1月) 目標 60%</p>
<p>英語</p> <p>本校 37 % 全国 45.6 % 県 43 %</p> <p>聞くこと 読むこと 話すこと 書くこと</p> <p>※「話すこと」は全国値のみ掲載</p>	<p>重要課題</p> <p>◎◇ 日常的な話題や社会的な話題について書かれた英文を読み、文と文との関係を正確に読み取ったり、要点を捉えたりすることに課題がある。 【読むこと】 (平均正答率 44.4%) (全国平均との差-6.8ポイント) 設問7(1) (正答率: 本校 33.3%) (全国平均との差-26.5ポイント) (2) (正答率: 本校 22.2%) (全国平均との差-12.5ポイント) 設問8(1) (正答率: 本校 22.2%) (全国平均との差-33.9ポイント)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇ 事実や考えが書かれた英文を読んで、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解させ、事実と考えを区別して読んだり、日常的な話題について書かれた英文を読んで必要な情報を読み取ったり、文と文との関係を正確に読み取ったりする学習活動を学習的に設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇ 2学期期末試験における全国学力[設問7(1)(2), 設問8(1)]の類似問題 (第3学年:11月, 第2学年:12月) 目標 50% 英文の読み取りに関する学年末試験の問題 (第3学年:1月, 第2学年:2月) 目標 55%</p>

【来年度に向けて】